

国道１５号・品川駅西口駅前広場整備事業計画検討会
(第５回) 議事概要

１．日 時 平成３１年３月１１日（月） １０：００～１１：００

２．場 所 東京国道事務所 第二会議室
(千代田区九段南１－２－１ 九段第三合同庁舎１５階)

３．出席者

[座 長] 岸井 隆幸 (日本大学 理工学部 土木工学科 特任教授)

[委 員] 羽藤 英二 (東京大学大学院 工学系研究科 教授)

岩田 亮一 (東京都都市整備局都市づくり政策部開発企画課長)

田中 佐世子 (東京都都市整備局都市づくり政策部開発企画課
開発計画推進担当課長)

小川 直記 (代理出席：菅原裕貴)

(東京都都市整備局都市づくり政策部まちづくり専門課)

澤井 正明 (代理出席：粉川大樹)

(東京都都市整備局都市基盤部街路計画課長)

村上 利雄 (港区 街づくり支援部

品川駅周辺街づくり担当課長)

五十嵐一夫 (国土交通省関東地方整備局道路計画第二課長)

井上 圭介 (国土交通省関東地方整備局東京国道事務所長)

杉山 勲 (代理出席：長澤靖真)

(京浜急行電鉄(株)品川開発推進室 部長)

金子 雄一 (京浜急行電鉄(株)品川開発推進室 部長)

谷井 健 (京浜急行電鉄(株)品川開発推進室 部長)

妹尾 寛仁 (株西武プロパティーズ都市開発部長)

高橋 武 (東日本旅客鉄道(株)総合企画本部

品川・大規模開発部担当部長)

(敬称略)

４．議事

(１) 挨拶

日本大学 理工学部 土木工学科 特任教授 岸井 隆幸

(２) 審議

- ・「事業計画(案)考え方」について、今後、各関係者と調整し、とりまとめ後、公表することを確認。

＜委員からの主な意見＞

- ・次世代型交通ターミナルの運営を民間事業者が担うことを考えれば、アメニティ等の必要サービス機能についても計画の中に盛り込むべき。
- ・次世代のモビリティネットワークの運用にあたっては、次世代型交通ターミナルを運営する民間事業者、各施設の管理者、道路管理者等、様々な関係者が介在することから、今後の計画の具体化に合わせ、運用・制度面での考え方も一体で検討を進めるべき。
- ・賑わい広場の整備を民間が担っていくためには、デッキ直下の道路交通の安全確保とデッキ構造物の保全を両立させる必要があるため、道路管理者と民間事業者の協力のあり方について引き続き検討を行っていくべき。
- ・複合ターミナル計画の具体化は、西口地区（４丁目地区）における街づくり計画と一体で進められることとなるため、国道上空利用計画の進捗に合わせ、再開発事業者と十分な調整を図っていくべき。
- ・国道上空利用計画は、「次世代型交通ターミナル」「センターコア」「賑わい広場」の３つの機能について、官民が役割を分担し、整備することとなるため、これらをトータルでデザインする考え方についても今後、整理していくべき。
- ・国道上空利用の推進、次世代モビリティネットワークの形成は、まちづくりと一体で進めることから、各再開発事業との検討・調整を今後も引き続き実施していくべき。
- ・加えて、国道１５号の事業実施段階においては、デッキ工事、連立事業、再開発事業等との工事調整が極めて重要であり、工事計画に係る検討・調整も行っていくべき。
- ・本計画と地下鉄延伸計画は、コスト、機能連携、工事調整の観点から重要であるため、今後も計画の調整を進めるべき。